

取材ご案内

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学

2015年12月25日

APU リリース 2015-68

アジア・オセアニア地域から研修生 12 名を受け入れ 大学による地域を活かした国際協力事業

立命館アジア太平洋大学（以下 APU）は、独立行政法人・国際協力機構（JICA）の委託を受け、今回アジア・大洋州地域から 12 名を受け入れます。

大分県ゆかりの一村一品運動で成功した県内の数々の現場等を訪問し、実際に大分の地域振興・地域行政を学びます。

<スケジュール>

【研修名】平成 27 年度アジア・大洋州地域 「地域振興（一村一品運動）」

【期 間】2016 年 1 月 11 日（月）～1 月 22 日（金） 計 10 日間

【参加者】カンボジア、モンゴル、バングラデシュ、フィジー、ミクロネシア、ソロモン諸島、ベリーズ、アフガニスタン、ラオス、スリランカ、トンガ、タジキスタン 計 12 名

【言 語】英 語

【講 師】三好皓一（アジア太平洋学部教授）

岡部有美子（Institute for Community Design 事務局長）

【場 所】別府市、日田市大山町、臼杵市

【主な研修内容】

- 1) オンパク体験 地獄蒸し体験《別府・鉄輪地区》
- 2) ひびきの郷、水辺の郷おおやま等にて視察講義《日田市大山町》
- 3) 禅寺写経・座禅体験《臼杵市》
- 4) コミュニティ・キャパシティ・ディベロップメント講義・グループ討議《APU》

※全日程での取材が可能です。事前に APU 広報（0977-78-1114）までご連絡ください。

<JICA 研修員受入事業>

APU では、独立行政法人・国際協力機構（JICA）から委託を受け 2006 年から開始。アフリカ、アジア、南米の町長や行政官を対象に、毎年 100 名前後の研修生を受け入れています。研修では都市と地方の開発格差、開発途上国の貧困削減に焦点を当て、行政、民間、地域住民が一体となって地域の力を高められるよう、その推進役となるリーダーの育成を目指しています。

研修期間中は、県内の現場を訪問しケーススタディー、オンパク体験など多彩なプログラムを行います。その後、研修で学んだ実践モデルを自国でどう活かすか討議を行いながら、独自のプランを考えていきます。

【本発表資料のお問い合わせ先】 学長室（広報）担当：加藤・宮腰

Tel:0977-78-1114 携帯:090-5473-3803 Fax:0977-78-1113 URL: <http://www.apu.ac.jp>

住所：〒874-8577 大分県別府市十文字原 1-1